

先取り★マーケットレビュー

今回のテーマ：
巣ごもり関連、あるいは、オンライン経済

2020年4月22日（水）

楽天証券経済研究所

チーフアナリスト 今中 能夫

- 新型コロナウイルスが日本と世界にパラダイムシフトを引き起こす。
- 新型コロナウイルス感染症の世界的拡大で、在宅勤務、自宅学習が急増。遊びの世界でも「巣ごもり」消費が拡大中。
- 高性能パソコン、ネット通販、ゲーム機、動画配信、オンライン学習などの各分野が重要なテーマに。
- 国民1人に一律10万円の給付が実現しそう。使い道は、生活費の補填、高性能パソコン、5Gスマホ、ゲーム機とゲームソフト、4Kテレビ、オンライン学習などか。

「巣ごもり」関連銘柄：1

在宅勤務	
パソコン	MCJ (パソコンのBTO販売)、カカクコム (パソコン通販)
	Apple (パソコン製造販売)、レノボ (パソコン製造販売)
	<u>インテル</u> (パソコン用CPU)、 <u>AMD</u> (パソコン用CPU)、 <u>TSMC</u> (AMDの最先端CPUを生産)、 <u>サムスン</u> (DRAM、NAND型フラッシュメモリ最大手)、 <u>マイクロン・テクノロジー</u> (DRAM、NAND大手)、 <u>東芝</u> (キオクシア (NAND大手、旧東芝メモリ) の株式を40.2%保有)
	最先端CPU、メモリ生産のための半導体製造装置とシリコンウェハ： <u>ASML</u> 、東京エレクトロン、アドバンテスト、レーザーテック、ディスコ、信越化学工業、SUMCOなど
	T D K (HDDの磁気ヘッド、パソコン用電池)、村田製作所 (セラミックコンデンサなどパソコン向け各種電子部品)、日本電産 (HDD用スピンドルモータ)
富士通、N E C (各々パソコンの仕入れ販売、システム構築)	
通信 (5G)	N T T、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、ソニー (ISPのNUROを運営)
オンライン会議	ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ、ブイキューブ

出所：楽天証券作成

注：下線は外国上場企業

「巣ごもり」関連銘柄：2

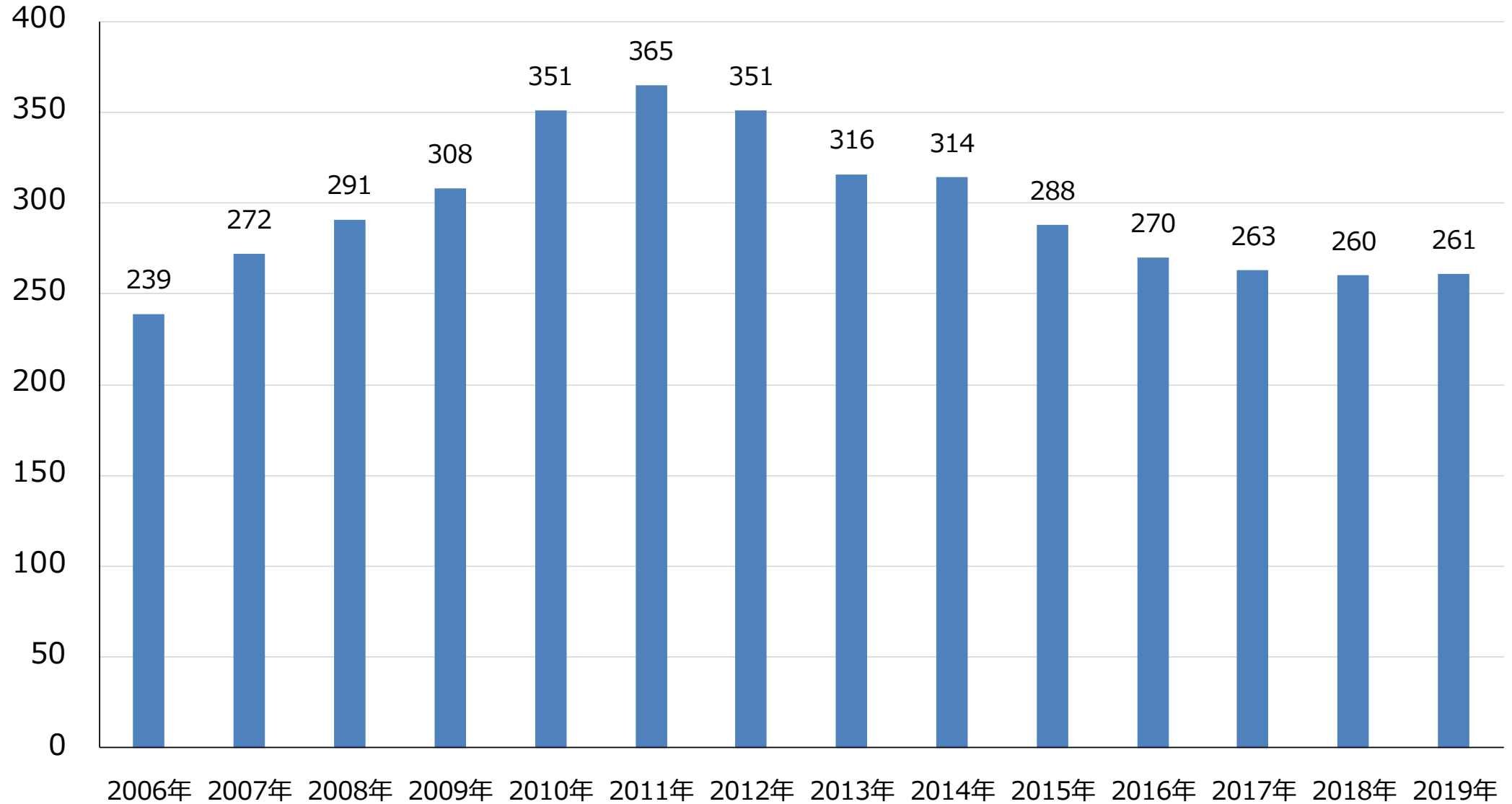
買い物	楽天、Zホールディングス、ZOZO、 <u>アマゾン・ドット・コム</u> 、ビックカメラなど
エンタテインメント	
動画配信	WOWOW、スカパーJ SATホールディングス、USEN-NEXT HOLDINGS（U-NEXTを運営）、dTV（NTTドコモとエイベックスの共同事業）、NTTドコモ（ひかりTVを運営）、KDDI（子会社にジュピーターテレコム）、 <u>アマゾン・ドット・コム</u> 、 <u>ネットフリックス</u> 、日本テレビ放送網（Hulu日本向けを運営）、サイバーエージェント（AbemaTVを運営）、フジ・メディア・ホールディングス（FODを運営）、KADOKAWA（ニコニコ動画を運営）、TBSホールディングス、テレビ東京ホールディングスなど（paraviを運営）、Youtube（アルファベット（グーグル親会社）傘下
音楽配信	<u>スポティファイ・テクノロジー</u> 、エイベックス、サイバーエージェントなど
ゲーム	任天堂、ソニー、カプコン、スクウェア・エニックス・ホールディングスなど
アニメ制作	東映アニメーション、IGポート
映画製作	東宝、東映、松竹
オンライン学習	リクルートホールディングス（スタディサプリを運営）、学研ホールディングス、ジャストシステム（スマイルゼミ運営）、ベネッセホールディングス、ビジネス・ブレークスルー、すららネットなど

出所：楽天証券作成

注：下線は外国上場企業

世界のパソコン出荷台数

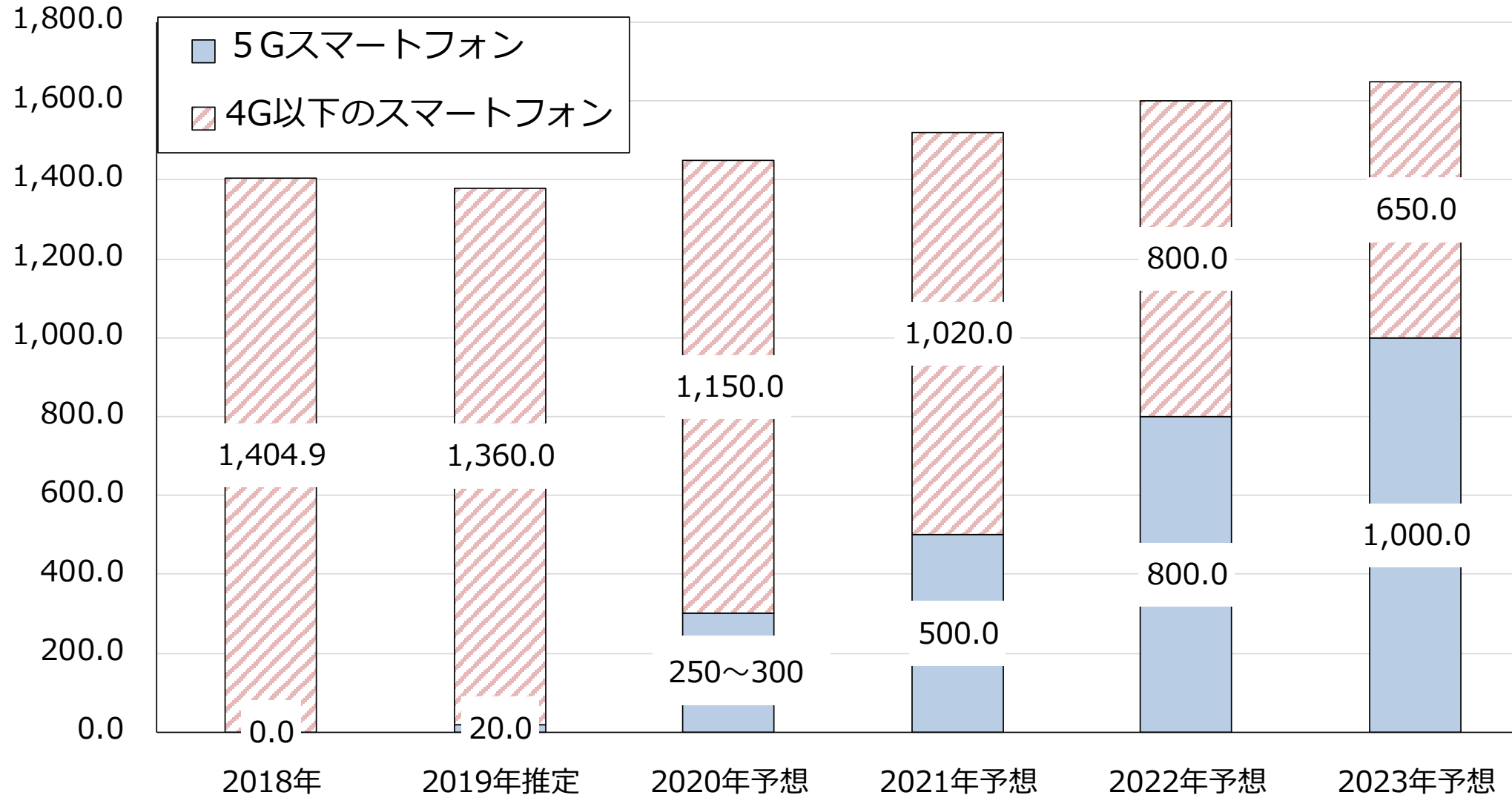
(単位：100万台、出所：ガートナーより楽天証券作成)



5Gスマートフォンの世界出荷台数予想

(単位：100万台、出所：2018年はiDCプレスリリースによる。

2019年以降は楽天証券予想)



●新型コロナウイルスが引き起こす大きな変化

- ✓ 働き方が在宅勤務へシフト。人の交流が制限される。
- ✓ 高性能パソコン+5Gまたは高速回線+自宅で、できるだけの仕事をする。
- ✓ 感染リスクの軽減→企業の拠点（オフィス）の分散化、一人当たりオフィス面積の拡大。
- ✓ ハイテク経済の優先順位が、5Gから、高性能パソコン+5Gにシフト。
- ✓ パソコン不足の時代へ。

● 「グローバル」の見直し

- ✓ 国際交流、国際関係、国際機関などの「国際」の価値が急低下（感染リスクに見合わない。感染の程度が国によって違うので、他国の意見を聞いても問題解決にならない（特に日本の場合））。
- ✓ 「グローバル」（地球規模）から「インターナショナル」（自国にとって重要な国とだけ付き合う）へ。徹底的な自国中心主義へ。
- ✓ 日本企業の海外経営が、現地人を活用した多国籍企業経営になる。

- **人、企業、国が、生き残るために何をなすべきか。**
- **感染リスクが新たな投資を引き起こす。**
- **問題は遊びの世界。**
 - ✓ 遊びもオンラインに。しかし、、、
 - ✓ ゲームと動画だけではそのうち物足りなくなる？
 - ✓ 映画館、劇場、音楽ライブがいつ再開されるのか。

任天堂の業績

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 会社予想 (今回)	2020年3月期 楽天証券予想 (前回)	2020年3月期 楽天証券予想 (今回)	2021年3月期 楽天証券予想 (前回)	2021年3月期 楽天証券予想 (今回)	2022年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	1,055,682	1,200,560	1,250,000	1,250,000	1,310,000	1,310,000	1,550,000	1,470,000
前年比	115.8%	13.7%	4.1%	4.1%	9.1%	4.8%	18.3%	-5.2%
営業利益	177,557	249,701	300,000	300,000	340,000	360,000	440,000	450,000
営業利益率	16.8%	20.8%	24.0%	24.0%	26.0%	27.5%	28.4%	30.6%
前年比	504.7%	40.6%	20.1%	20.1%	36.2%	20.0%	29.4%	2.3%
経常利益	199,356	277,355	300,000	300,000	340,000	360,000	440,000	450,000
前年比	295.8%	39.1%	8.2%	8.2%	22.6%	20.0%	29.4%	2.3%
当期純利益	139,590	194,009	210,000	210,000	238,000	252,000	308,000	315,000
前年比	36.1%	39.0%	8.2%	8.2%	22.7%	20.0%	29.4%	2.3%
EPS	1,171.8	1,628.6	1,762.9	1,762.9	1,997.9	2,115.4	2,585.5	2,644.3
配当	590.0	810.0	890.0	890.0	1,000.0	1,060.0	1,300.0	1,330.0

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

主要な任天堂製ニンテンドースイッチ用ソフトの販売本数

	2019年3月期 1Q	2Q	3Q	4Q	2020年3月期 1Q	2Q	3Q	2019年12月末 累計販売本数	発売日
ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド	84	96	140	109	84	93	180	1,634	2017年3月3日
マリオカート8デラックス	113	136	331	167	120	112	395	2,296	2017年4月28日
Splatoon 2	74	71	80	43	32	26	53	981	2017年7月21日
スーパーマリオ オデッセイ	76	100	159	68	50	44	121	1,659	2017年10月27日
星のカービィ スターアライズ	63	21	32	14					2018年3月16日
ドンキーコング トロピカルフリーズ	140	27							2018年5月3日
マリオテニス エース	138	78	37	11	11				2018年6月22日
スーパーマリオパーティ			530	110	59	60	153	912	2018年10月5日
ポケットモンスター ピカチュウ・イーブイ			1,000	63	35	30	48	1,176	2018年11月16日
大乱闘スマッシュブラザーズSPECIAL			1,208	173	92	98	197	1,768	2018年12月7日
NEWスーパーマリオブラザーズUデラックス				331	79	49	126	585	2019年1月11日
ヨッシークラフトワールド				111					2019年3月29日
スーパーマリオメーカー 2					242	151	111	504	2019年6月28日
ファイアーエムブレム風花雪月						229	29	258	2019年7月26日
ゼルダの伝説 夢を見る島						313	106	419	2019年9月20日
リングフィット アドベンチャー							217	217	2019年10月18日
ルイージマンション 3							537	537	2019年10月31日
ポケットモンスター ソード・シールド							1,606	1,606	2019年11月15日

単位：万本

出所：会社資料より楽天証券作成

注1：任天堂出荷ベース、ダウンロード、ハードウェア同梱を含む。

注2：端数処理のため合計が合わない場合がある。

カプコンの業績

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 会社予想 (前回)	2020年3月期 会社予想 (今回)	2020年3月期 楽天証券予想 (前回)	2020年3月期 楽天証券予想 (今回)	2021年3月期 楽天証券予想 (前回)	2021年3月期 楽天証券予想 (今回)	2022年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	94,515	100,031	85,000	80,000	86,500	80,000	102,000	83,000	93,000
前年比	8.4%	5.8%	-15.0%	-20.0%	-13.5%	-20.0%	27.5%	3.8%	12.0%
営業利益	16,037	18,144	20,000	22,000	21,000	22,600	24,000	24,000	29,000
営業利益率	17.0%	18.1%	23.5%	27.5%	24.3%	28.3%	23.5%	28.9%	31.2%
前年比	17.5%	13.1%	10.2%	21.3%	15.7%	24.6%	6.2%	6.2%	20.8%
経常利益	15,254	18,194	19,500	22,000	20,500	22,600	23,500	24,000	29,000
前年比	21.2%	19.3%	7.2%	20.9%	12.7%	24.2%	4.0%	6.2%	20.8%
当期純利益	10,937	12,551	14,000	15,500	14,700	15,900	16,900	16,800	20,300
前年比	23.2%	14.8%	11.5%	23.5%	17.1%	26.7%	6.3%	5.7%	20.8%
EPS	102.5	117.6	131.1	145.2	137.7	148.9	158.3	157.4	190.2
配当	60.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

東映アニメーションの業績

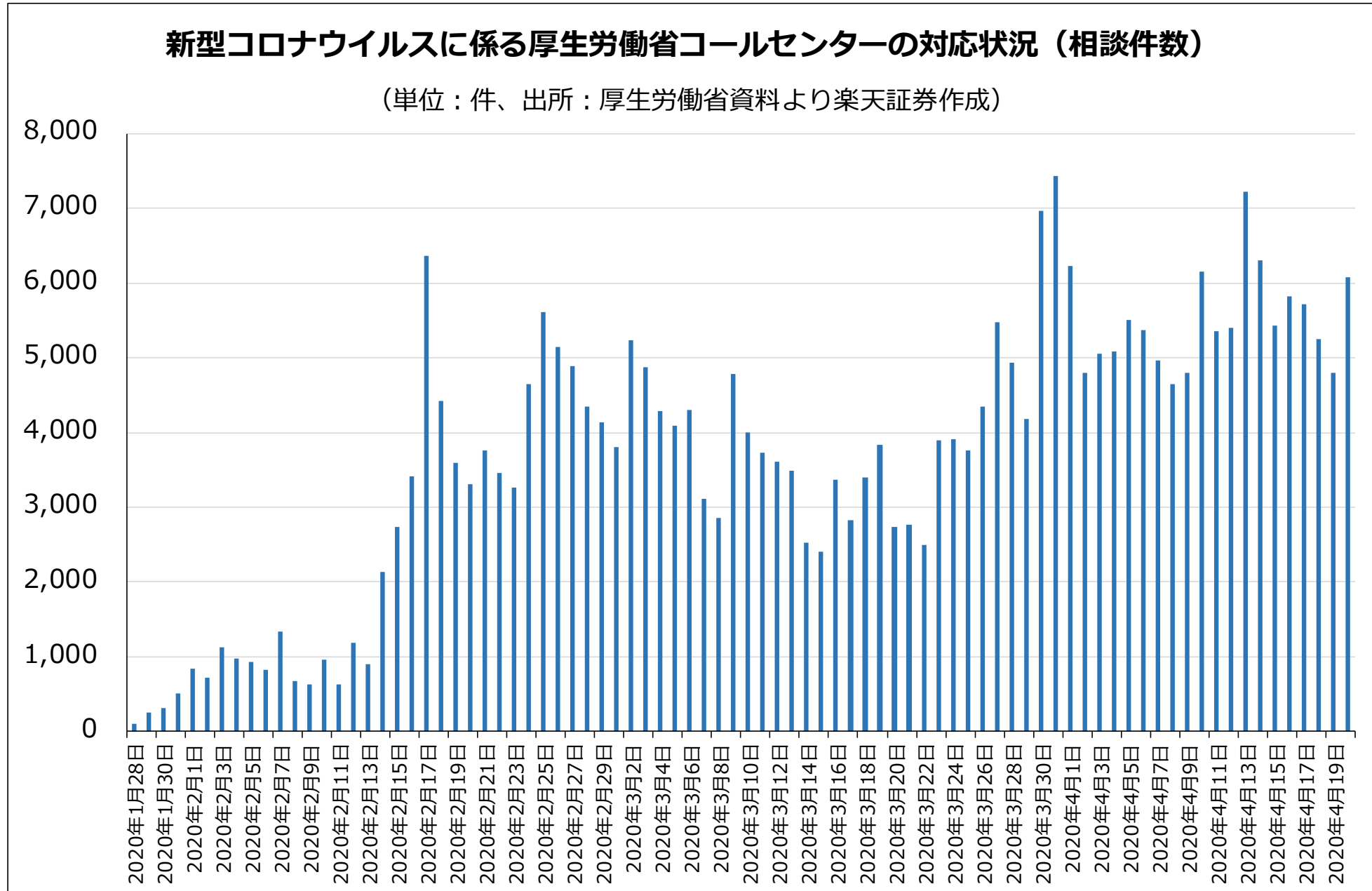
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 会社予想 (今回)	2020年3月期 楽天証券予想 (今回)	2021年3月期 楽天証券予想 (今回)	2022年3月期 楽天証券予想 (今回)
売上高	40,747	45,992	55,701	55,000	56,000	60,800	64,500
前年比	21.2%	12.9%	21.1%	-1.3%	0.5%	8.6%	6.1%
営業利益	10,133	11,272	15,741	15,000	15,500	18,400	19,700
営業利益率	24.9%	24.5%	28.3%	27.3%	27.7%	30.3%	30.5%
前年比	32.7%	11.2%	39.6%	-4.7%	-1.5%	18.7%	7.1%
経常利益	10,362	11,561	16,265	15,300	15,800	18,700	20,000
前年比	29.6%	11.6%	40.7%	-5.9%	-2.9%	18.4%	7.0%
当期純利益	7,203	7,847	11,375	10,700	11,000	13,000	13,900
前年比	40.0%	8.9%	45.0%	-5.9%	-3.3%	18.2%	6.9%
EPS	176.1	191.9	278.2	261.7	269.0	317.9	339.9
配当	43.3	48.3	70.0	52.0	52.0	63.0	67.0

単位：百万円、円

出所：会社資料より楽天証券作成

注：当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益。

(参考) 新型コロナウイルス感染症：日本で何が起きたのか



国内における新型コロナウイルスに係るPCR検査の実施状況

(単位：件、出所：厚生労働省より楽天証券作成、2020年2月18日以降、結果判明日ベース)

10000

9000

8000

7000

6000

5000

4000

3000

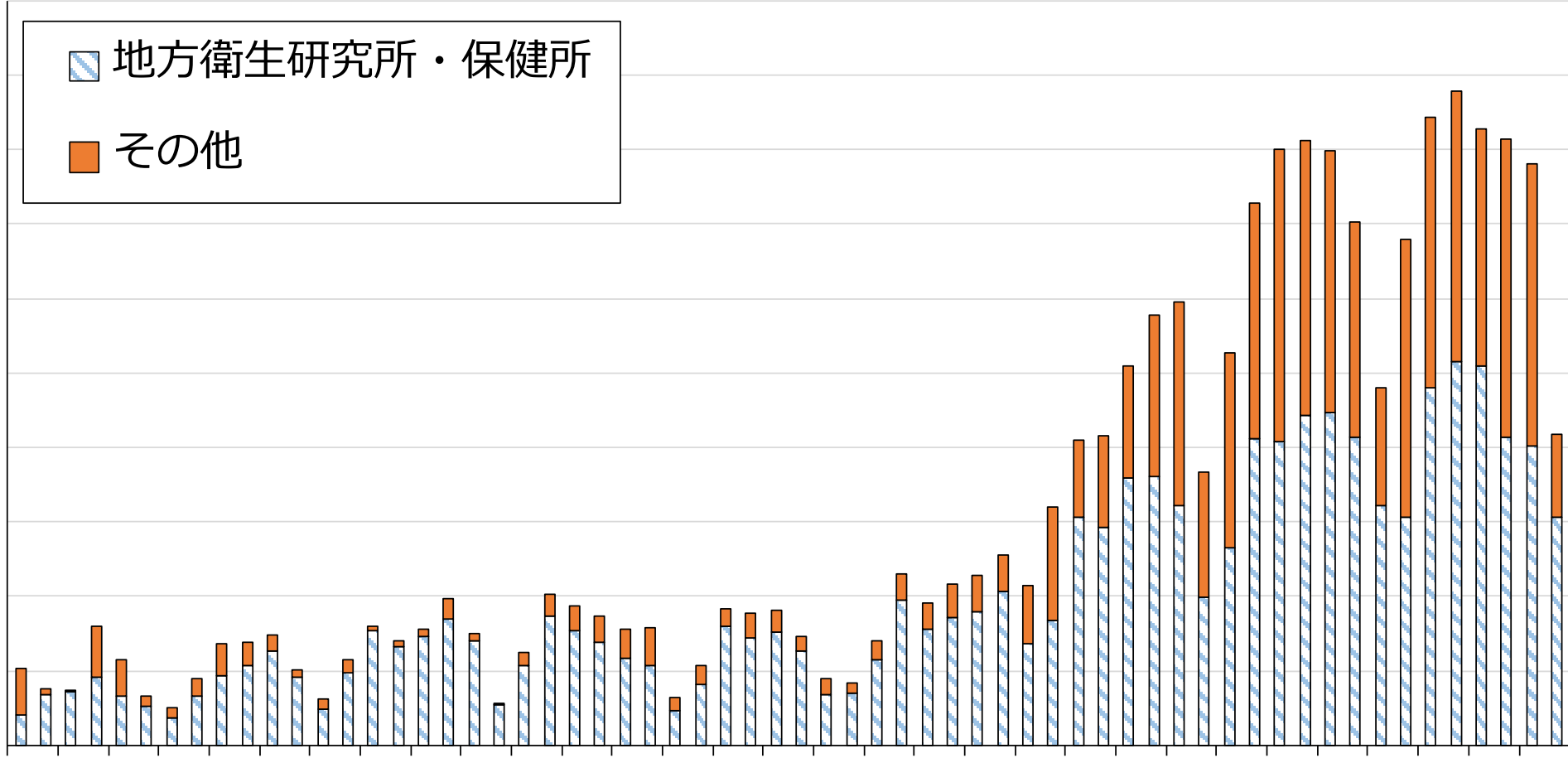
2000

1000

0

地方衛生研究所・保健所
その他

2020年2月18日
2020年2月20日
2020年2月22日
2020年2月24日
2020年2月26日
2020年2月28日
2020年3月1日
2020年3月3日
2020年3月5日
2020年3月7日
2020年3月9日
2020年3月11日
2020年3月13日
2020年3月15日
2020年3月17日
2020年3月19日
2020年3月21日
2020年3月23日
2020年3月25日
2020年3月27日
2020年3月29日
2020年3月31日
2020年4月2日
2020年4月4日
2020年4月6日
2020年4月8日
2020年4月10日
2020年4月12日
2020年4月14日
2020年4月16日
2020年4月18日



新型コロナウイルス感染症の発生状況

2020年4月21日20時現在

	国内	国外
感染者数	11,119	2,303,158
前日比	363	72,872
死亡者数	186	157,663
前日比	15	5,286
回復者数	1,356	643,296
前日比	117	33,219
(外数)		
横浜港クルーズ船		
感染者数	712	
死亡者数	13	

国内都道府県別 感染者数	
東京都	3,197
大阪府	1,297
神奈川県	802
千葉県	683
埼玉県	662
兵庫県	524
福岡県	524
北海道	451
愛知県	406

単位：人

出所：ヤフーより楽天証券作成。元出所は厚生労働省、WHO等。

注：4月21日時点で厚生労働省が発表した4月20日の数値。

新型コロナウイルス感染症の都道府県別発生状況

	3月22日		3月23日		3月25日		4月1日		4月20日
北海道	161	北海道	161	東京都	201	東京都	593	東京都	3197
愛知県	134	東京都	146	北海道	166	大阪府	279	大阪府	1297
東京都	132	愛知県	136	愛知県	144	北海道	182	神奈川県	802
大阪府	113	大阪府	116	大阪府	129	愛知県	181	千葉県	683
兵庫県	83	兵庫県	85	兵庫県	87	千葉県	175	埼玉県	662
神奈川県	67	神奈川県	68	神奈川県	77	兵庫県	161	福岡県	524
埼玉県	45	埼玉県	46	埼玉県	53	神奈川県	138	兵庫県	524
千葉県	42	千葉県	45	千葉県	51	埼玉県	101	北海道	451

単位：人

出所：厚生労働省より楽天証券作成。

注1：日付は各都道府県が確認した日付。厚生労働省日報へは翌日版の記載となる。

注2：無症状病原体保有者を除く。

東京都：新型コロナウイルス感染者の推移

	東京都累計感染者数（厚生労働省PCR検査陽性者数）	東京都PCR検査実施人数（累計）	東京都累計感染者数（東京都速報値）	前日比増加数	うち院内感染	うち市中感染	うち市中感染（経路判明）	うち市中感染（経路不明）
2020年3月24日	172	2,013	171	17	2	15	6	9
2020年3月25日			212	41	11	30	17	13
2020年3月26日			259	47	10	37	13	24
2020年3月27日	305	2,269	299	40	15	25	7	18
2020年3月28日	368	2,269	362	63	29	34	11	23
2020年3月29日	436	2,269	430	68	27	41	15	26
2020年3月30日	449	2,986	443	13	0	13	6	7
2020年3月31日	527	3,027	521	78	10	68	19	49
2020年4月1日	593	3,027	587	66	0	66	28	38
2020年4月2日	690	3,402	684	97	31	66	33	33
2020年4月3日	779	3,806	773	89	19	70	15	55
2020年4月4日	897	3,806	890	116	7	109	28	81
2020年4月5日	1,040	3,806	1033	143	0	143	51	92
2020年4月6日	1,123	4,422	1116	83	0	83	10	73
2020年4月7日	1,203	4,757	1195	79	0	79	22	57
2020年4月8日	1,347	4,992	1338	144	24	120	25	95
2020年4月9日	1,528	4,992	1516	178	0	178	56	122
2020年4月10日	1,717	5,660	1704	188	4	184	37	147
2020年4月11日	1,914	5,660	1901	197	0	197	45	152
2020年4月12日	2,080	5,660	2067	166	87	79	15	64
2020年4月13日	2,171	6,327	2158	91	0	91	15	76
2020年4月14日	2,332	6,563	2319	161	2	159	54	105
2020年4月15日	2,457	6,654	2445	126	4	122	42	80
2020年4月16日	2,606	6,814	2593	148	4	144	41	103
2020年4月17日	2,807	7,244	2794	201	1	200	66	134
2020年4月18日	2,988	7,244	2975	181	0	181	57	124
2020年4月19日	3,095	7,726	3082	107	11	96	29	67
2020年4月20日	3,197	8,198	3184	102	4	98	21	77
2020年4月21日			3307	123	0	123	42	81

単位：人

出所：厚生労働省、東京都、各種報道より楽天証券作成。

注1：PCR検査実施人数は数日分をまとめて厚生労働省に報告するようなので、毎日増えるわけではない。

注2：院内感染は3月24日以前に2件ある。発生元は、永寿総合病院、慈恵医大病院、中野江古田病院など。報道による数字であり全てを把握したものではない。

- 日本では、感染初期のPCR検査が少ないため（特に東京都では検査拒否があったと言われている）、感染実態が今もわかっていないのではないか。
- 日本と他の国々との、人口あたりの感染者数、死亡者数が極端に違う→問題解決のために他国の事情はほとんど役に立たない→何もしなければ重症者85.3万人、死亡者41.8万人という試算は、中国での死亡率等の数字を当てはめており、日本では？
- 行政は失業者と風俗で働く人の健康状態を把握できない（就業者の健康状態は会社を通じて概ね把握可能）→失業者を増やさないようにしなければならないが、悪い方向に向かい始めているかも。
- 歓楽街と風俗がホットスポット→失業者が増えると、無理なアルバイトや風俗で働く人が増えてイタチごっこになりかねない。
- 東京都の封鎖は不可能（都市と都市の間に都市が連なっている）。経済も東京、埼玉、千葉、神奈川は一体化→無理に封鎖すると経済が大混乱し、大量の失業者が発生して、感染爆発が起こりやすくなるかもしれない。